

**(仮称) 新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン
(素案)**

令和4年 ●月

新潟市

はじめに

本市は2019年1月に開港150周年を迎えることを契機に、現在の新潟都心が形成されるまでの都市構造の変遷を振り返り、これからの150年を見据えたまちづくりの方向性を示す「新潟都心の都市デザイン」を2018年に策定した。2020年に都心エリアを「にいがた2km」と名付け、新潟駅周辺から万代地区、古町地区、万代島地区へとつながる都心軸を中心とした一体的なまちづくりに取り組んでいます。

新潟駅・万代地区周辺では、万代シテイのリニューアルや都市再生緊急整備地域の指定（2021年）、新潟駅の在来線全線高架化（2020年）などを契機として、地域の多様な関係者が連携してまちづくりに取り組む機運が高まっています。

本ビジョンは、「新潟都心の都市デザイン」を踏まえ、広く関係者が、将来の姿やその具現化に向けた方向性を共有し、官民連携によるまちづくりを推進していくため、「（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン」を策定しました。

今後、本ビジョンが広く共有され、新潟駅・万代地区周辺に係る皆様とともに本ビジョンのコンセプトである「新しい魅力・価値が創造される人中心のまち」の実現に向けたまちづくりを官民連携で目指します。

そして、都心軸から始まるまちづくりの動きが新潟都心の拠点性を更に高め、本市全体の活性化へとつながっていくことで、本市が将来にわたって新潟が持続可能で魅力的な「選ばれる都市」を目指していきます。

【目次構成】

I 都市の成り立ち

II 新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョン

- 1 将来ビジョンの位置づけ
- 2 将来ビジョンの役割
- 3 目標年次と対象エリア
- 4 新潟駅・万代地区周辺に求められること
- 5 将来ビジョン ～10のストリートでつながる 2核・水辺・3モール～

III 将来ビジョン実現のための取組方針

- 方針1 歩行者空間づくり
- 方針2 基盤づくり
- 方針3 安心・安全な環境づくり
- 方針4 魅力づくり
- 方針5 仕組みづくり

IV ストリートごとのウォークアブルな将来の姿

V ビジョンの実現に向けて

- 1 ビジョンの実現に向けた体制
- 2 ビジョンの実現に向けたまちづくり推進プロセス

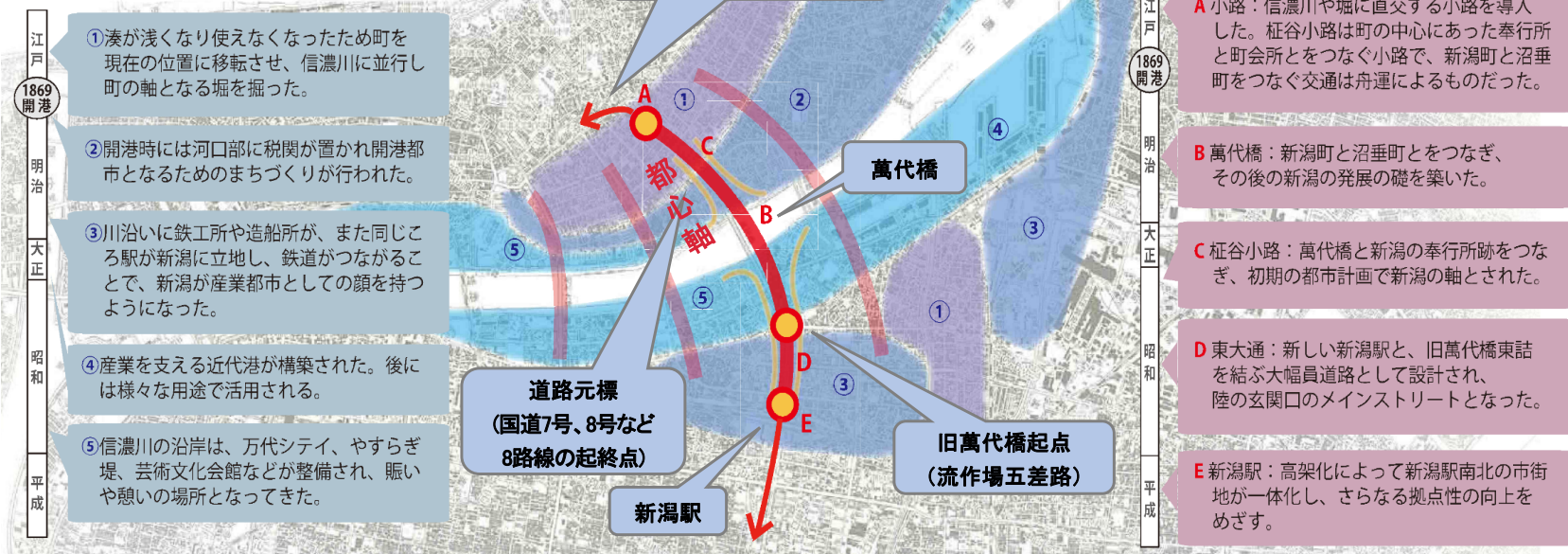
I 都市の成り立ち

都市の成り立ち

<新潟都心の成り立ち>

- 縦の軸において代表的かつ重要な軸が「都心軸」です。かつて奉行所があった古町から萬代橋、東大通、新潟駅へと150年かけて形成されてきた不動の軸を中心とした都心エリアは、江戸時代より湊町として栄えた歴史文化を色濃く残しながら、信濃川がもたらす魅力的な水辺の景観とともに、業務、商業、交流、広域交通の中心拠点として発展を遂げてきました。
- 今後も、この都心軸が次世代のアイデンティティとなるよう、都心のまちづくりを進めていくこととしています。

信濃川の恵みにより発展してきた新潟は、川がもたらす砂と水への対応を通じて、都心が信濃川に沿って層状に広がってきた。
(横の都市づくり：①→②→③→④→⑤)



<新潟駅・万代地区周辺の成り立ち>

- 当該エリアは信濃川の中州が寄り付いて成長し島となり、陸地へと変わっていき、新田村「流作場新田」が誕生しました。
- 1886年に初代萬代橋が開通し、1904年には信濃川沿い（現在の弁天公園付近）に新潟駅が開業しました。この頃、流作場新田は流作場に改称され、新潟町と沼垂町をつなぐ場としての機能が拡充されていきます。
- 1929年には、三代目萬代橋の完成とともに信濃川兩岸の埋立工事が行われ、現在の万代シティに道路等の都市基盤が整備されます。
- 1954年には新潟駅前土地区画整理事業が着工し、1958年に新潟駅が現在の位置に移転。1959年には新潟駅裏土地区画整理事業の着工と都市基盤の整備が拡大していきます。
- このように、当該エリアは信濃川の中州から始まり、流作場を中心に周辺地域とのつながりにより発展してきました。

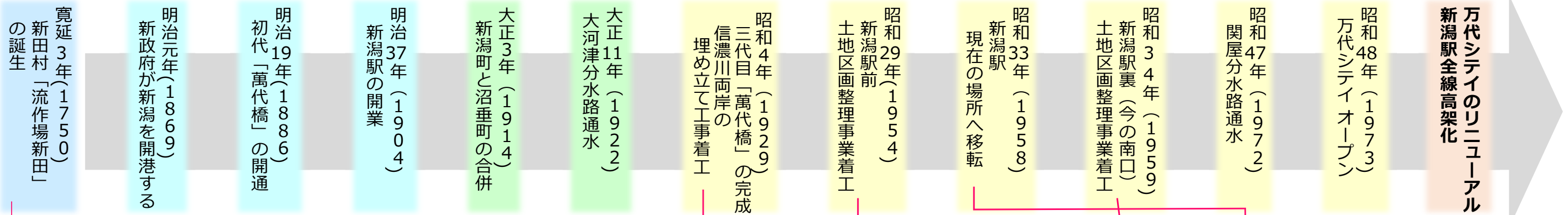


図 延享4年(1747)沼垂新潟増減立会絵図写(部分)「新潟市史」通史編2近世(下)から作成、一部改変

延享4年(1747)



※出典：新潟都心の都市デザイン

慶応2年(1866)



二代目萬代橋の隣に新しく架けられた三代目萬代橋



昭和25年(1950)頃



昭和44年(1969)頃



昭和53年(1978)頃

※上図は地理院地図 GSI Maps(国土地理院)の航空写真上に、目視できる街路を着色したもの

II 新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョン

1 将来ビジョンの位置づけ

○本ビジョンは、以下のとおり位置付け、「新潟都心の都市デザイン」の具体化に向け、当該エリアの将来像や方向性をより詳細に示すことで、広く関係者と共有するものです。

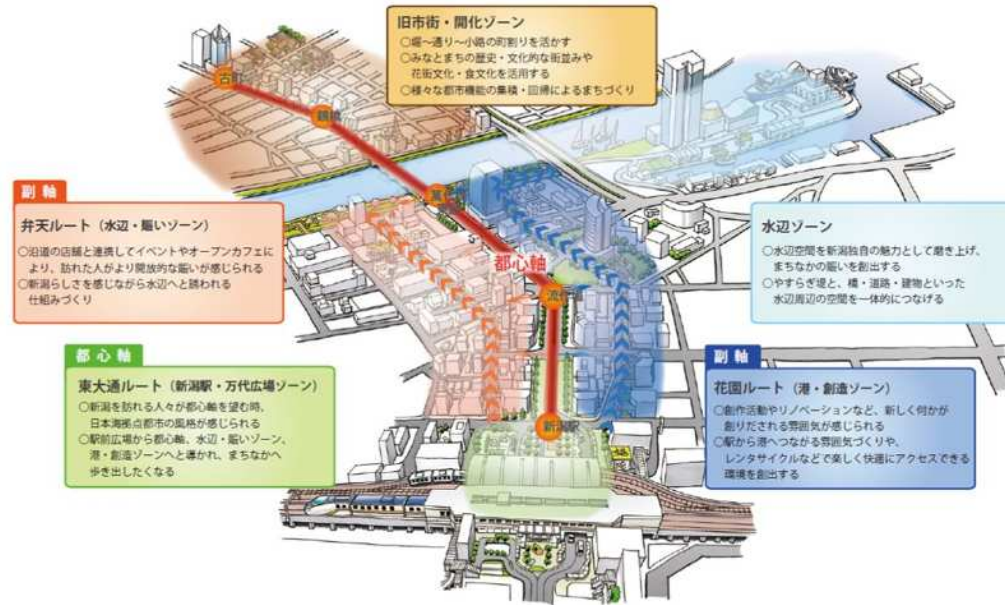
新潟市全体のまちづくり

- 新潟市総合計画
- 新潟市都市計画基本方針
(多核連携型の都市像)
- 新潟市立地適正化計画
(コンパクトプラスネットワーク)

都心部エリアのまちづくり

- 新潟都心の都市デザイン
開港から150年をかけて形成されたきた不動の軸(新潟駅～古町)を、次世代のアイデンティティとしていく

■新潟都心の都市デザイン／次世代のまちづくりに向けて



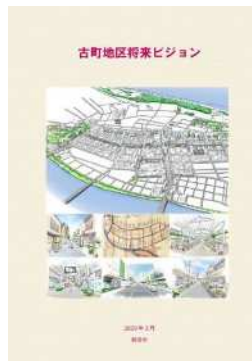
都心のまちづくり【「にいがた2km」の覚醒】

【基本方針】

- 人・モノ・情報の中心拠点となる 稼げる都心づくり
- 都心と8区の魅力・強みのコラボレーションによる 新たな価値の創造
- 居心地が良く、市民が主役になるまちづくり



古町地区将来ビジョン



(仮称)新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン

万代島地区将来ビジョン



2 将来ビジョンの役割

○本ビジョンは、以下の役割を担います。

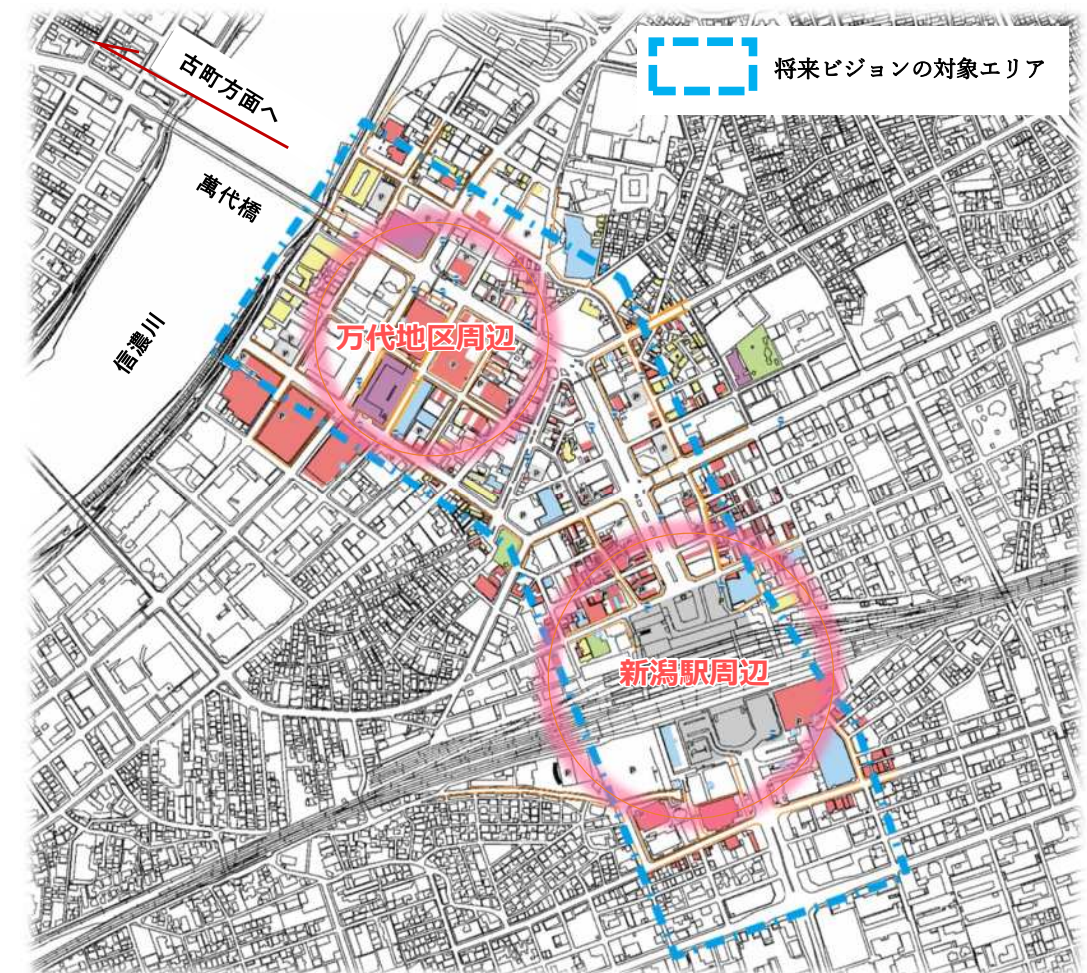
当該エリアの目指すべき将来像を共有することにより、まちづくりに対する意識と「自分ごと」としての認識を醸成していくもの

当該エリアに関わる事業を行う当事者が、事業や取組を進めるうえでの「道しるべ」にしていくもの

3 目標年次と対象エリア

○概ね20年後を目標年次に見据えます。

○対象エリアは新潟駅周辺および万代地区周辺を含む以下のエリアとします。



- 当該エリアでは、新潟駅周辺整備事業による南北市街地の一体化や、都市再生緊急整備地域の指定による開発事業への気運の高まりなど、都市構造が大きく変わる節目を迎えています。一方、エリア関係者による連携意識が芽生えているものの、活動の受け皿となる体制づくりが進んでいないといった課題も見えてきています。
- また、都市間競争の激化や若年層の県外流出、デジタル化の進展、ウィズコロナ・アフターコロナへの対応といった時代の潮流も踏まえながら、当該エリアの魅力と価値を向上させ、本市が「選ばれる都市」となるためにこのようなまちづくりの転換期である今こそ、将来ビジョンを共有し、官民連携によるまちづくりを推進していく好機です。
- 改めて、時代の潮流など「機会」を捉え、エリアの「課題」と「強み」を整理することで、『つながる』をキーワードに新潟駅・万代地区周辺の将来ビジョンを描きます。

【機会】

<p>新しい生活様式</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新たなライフスタイルへの転換と価値観の変化 • 選ばれる都心としての魅力発信の好機 など 	<p>都市再生</p> <ul style="list-style-type: none"> • 居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりの推進 • まちづくりと連携した駐車場施策への転換 など 	<p>Society 5.0</p> <ul style="list-style-type: none"> • デジタルトランスフォーメーション(※1)や新たな産業創出 など 	<p>環境防災SDGs</p> <ul style="list-style-type: none"> • 災害・感染症等に対応した安心できる都市環境 • 環境や社会に配慮した投資など環境意識の高まり • SDGs(※2)の推進 など 	<p>関連道路</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新潟駅付近連続立体交差事業に伴う道路整備 • 万代島ルート整備による都心部への通過交通の抑制 など
---	---	---	--	---

※1：進化を続けるデジタルテクノロジーが、人々の生活に影響を与え、日々の生活を豊かにしていく」という概念
 ※2：Sustainable Development Goals 2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標

【課題】

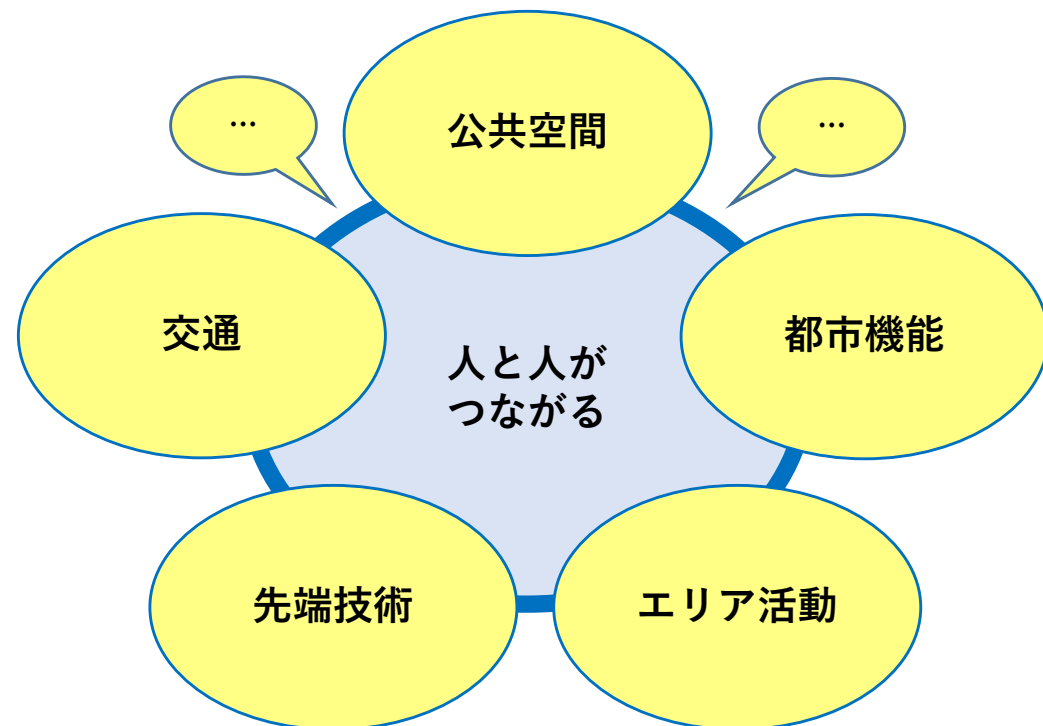
<p>土地建物</p> <ul style="list-style-type: none"> • 建物の老朽化の進行 • 低未利用地の増加(都市のスポンジ化) • 地価の停滞 	<p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> • 交通環境の整備が不十分(鉄道による市街地の分断など) • 多様な交通モード間の連携が不十分
<p>公共空間</p> <ul style="list-style-type: none"> • 居場所となる空間が少ない • 自動車中心の道路空間 • 公共空間の活用が不十分 	<p>組織</p> <ul style="list-style-type: none"> • エリア間の連携意識の芽生えているが、連携体制は強化が必要

【強み】

<p>基盤再編</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新潟駅周辺整備事業の推進 • 万代シティリニューアル • 都市再生緊急整備地域の指定 • 公民連携スマートシティの推進 • 中長距離バスターミナルの進捗 • 次世代通信環境の整備 	<p>地域資源</p> <ul style="list-style-type: none"> • 新潟のシンボルである萬代橋とその遺構 • 信濃川の魅力的な水辺空間(信濃川やすらぎ堤、万代テラス等)
<p>プレイヤー</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多様な民間のプレイヤーが存在 • プレイヤー間の連携意識が芽生えている • 道路空間や水辺空間等の公共空間の活性化 	

エリアに求められること

○新潟駅・万代地区周辺に求められることを整理すると、『つながる』というキーワードが浮かび上がってきます。



公共空間	<ul style="list-style-type: none"> • 道路や広場など公共的空間を効果的に活用 • 多様な人々が出会い、交流が生まれる居心地の良い空間を創出 など
都市機能	<ul style="list-style-type: none"> • 建物の更新にあわせ、新たな時代に対応した高次都市機能の誘導 • エリアの特性を踏まえた戦略的な土地利用 • エリア内外の企業から選ばれるビジネス拠点の形成 など
交通	<ul style="list-style-type: none"> • 安全で快適に楽しく移動できる環境づくり(回遊性の向上) • 「人・公共交通・自動車・自転車・新たなモビリティ等」の適切なバランス • 都心にふさわしい交通環境 など
先端技術	<ul style="list-style-type: none"> • 先端技術の導入でビジネス、ライフスタイルの質の向上 など
エリア活動	<ul style="list-style-type: none"> • エリア内の多様な人材のつながりを醸成 • それぞれの強みを活かしながら、まちづくり活動を継続的に担う仕組みづくり など

新潟駅・万代地区周辺を「新たな魅力・価値が創造させる 人中心のまちへ」

つながる 『2核・水辺・3モール』

開港150年を迎えた新潟港。新潟の都心は、古町地区から信濃川に沿って層状に広がり、それらのまちとまちを「縦の軸」でつなぐことで発展してきました。

新潟駅・万代地区周辺エリアの繁栄を支えた大河津分水、関屋分水がそれぞれ100周年、50周年を迎えました。また新潟駅が現在の位置に移転してから60年が経過し、新潟駅全線高架化や万代シテイのリニューアルが完成しました。

新潟駅周辺および万代地区周辺の2つの拠点と、信濃川を有する当該エリアのまちづくりは、次のステージに向けて踏み出します。

当該エリアが目指すのは、「人」を中心とする新しい新潟のまちづくり。あなたの居場所がある、あなたと何かがつながるまち。

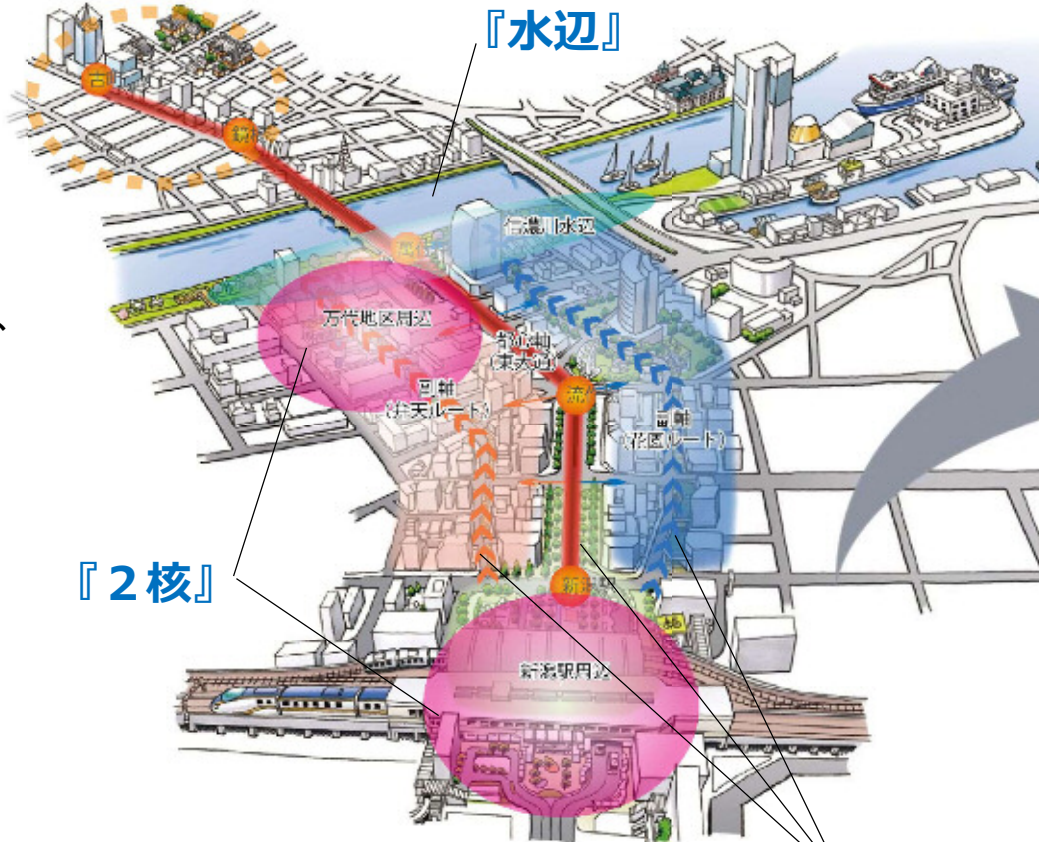
ストリートごとの歴史や文化など、これまでの成り立ちや特色を大切に、新たな出会いや交流により、新しい魅力と価値、発見が生まれる、新潟への愛着と誇りを醸成するようなまちを目指します。



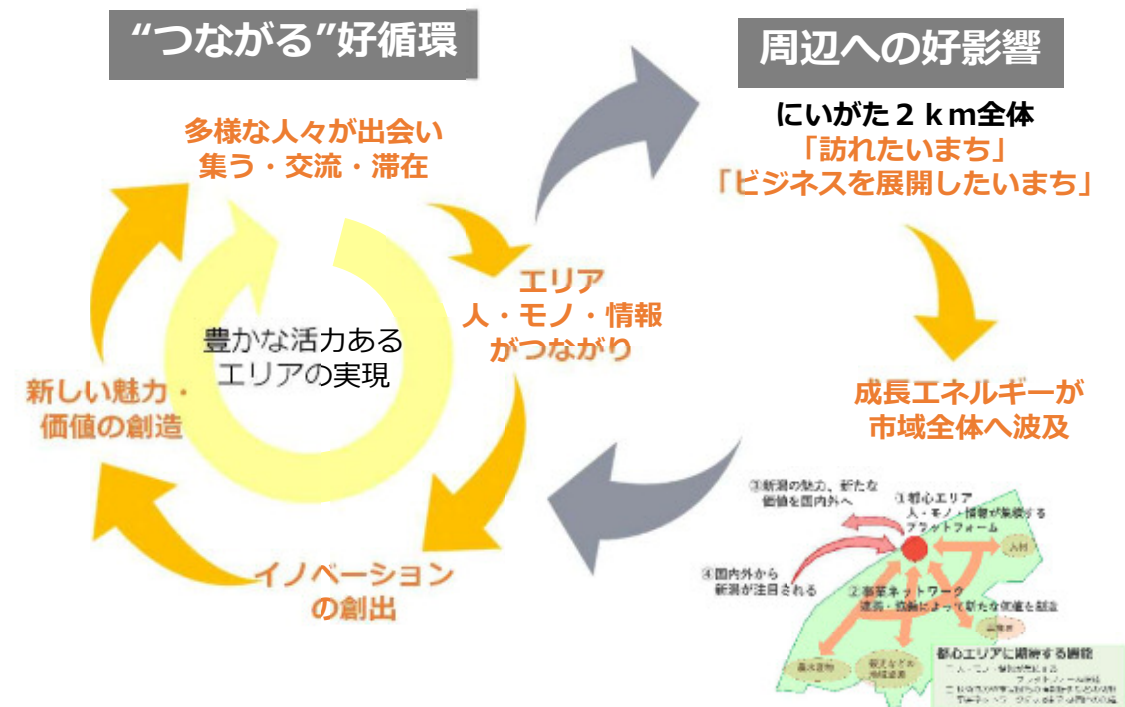
『2核・水辺・3モール』を「特色ある10のストリート」でつなぎ、新たな魅力・価値が創造される『人中心のまちづくり』

新潟市の陸の玄関口である「新潟駅周辺」と商業施設が集積する「万代地区周辺」の『2つの核』と、本市が誇る豊かな『水辺空間』、そして、開港から150年かけて形成されてきた不動の軸である都心軸と両副軸の『3モール』が有機的につながることによって、多様な人々が出会い交流が生まれ、新たなイノベーションから魅力や価値が創出される『人中心のまち』を目指します。

その実現に向け、当該エリア内の特色ある10のストリートの将来の姿を描き、磨き上げ、それぞれを「つなげる」ことで、エリア全体の魅力と価値を相乗的に高めていきます。



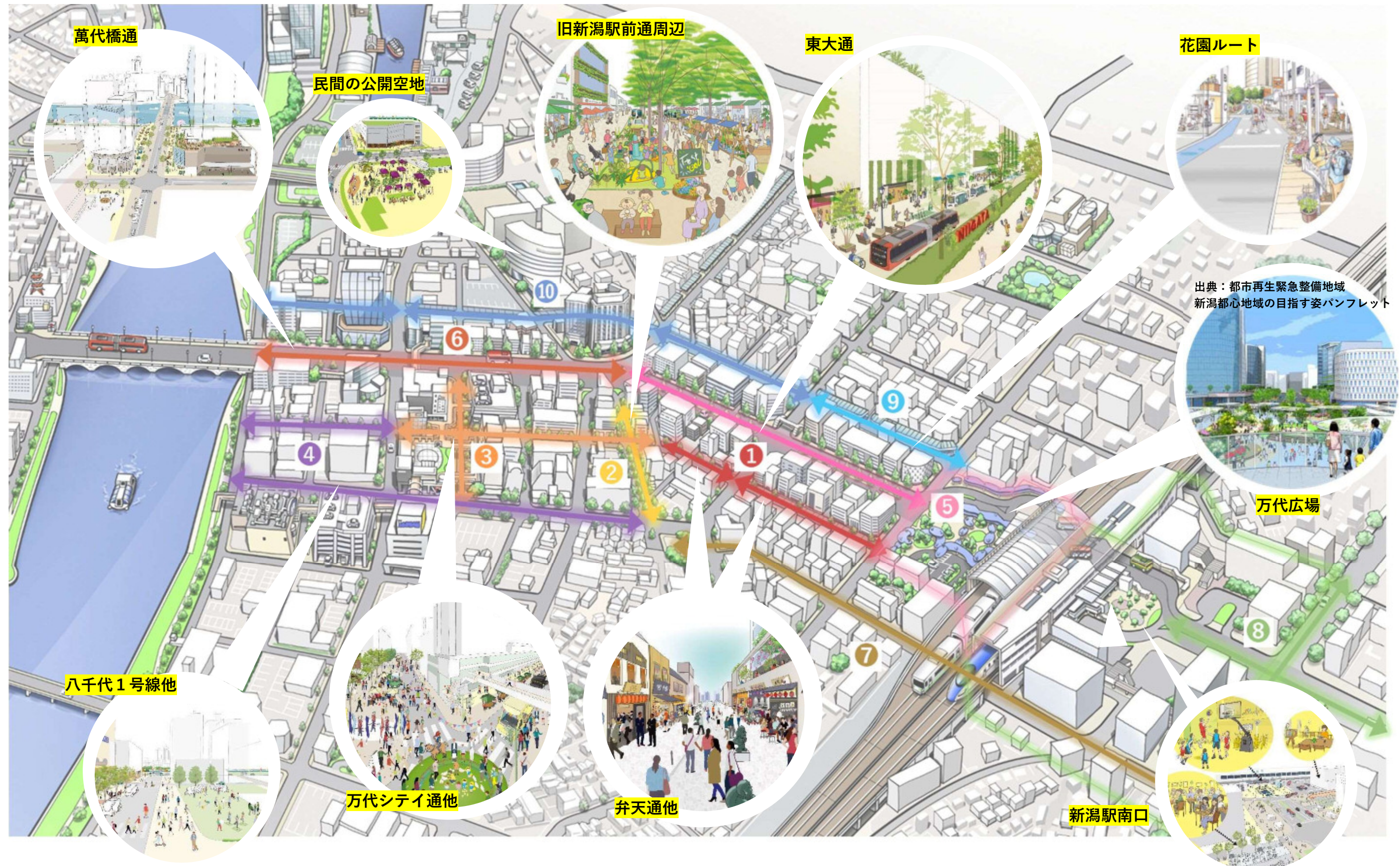
『3モール』



その都心の成長エネルギーが市域全体へ波及することで市域全体が活性化するとともに、多様な人材や関係人口と当該エリアのつながりが深まり、当該エリアもさらに魅力あるエリアになっていく、そんな好循環が生まれるエリアを目指します。

10のウォーカブルなストリートによって つながる将来の姿

10のストリートの成り立ちや特色などを活かしながら、『人中心のまち』としてエリア全体が有機的につながった将来の姿を描きます。



Ⅲ 将来ビジョン実現のための取組方針

1 将来ビジョン実現のための取組方針

- 将来ビジョン～10のストリートでつながる 2核・水辺・3モール～を実現するため、5つの取組を掲げます。方針設定の考え方は以下のとおりです。
 - 都心軸と副軸の3モールを形成するとともに、モールとモールをつないだり、モールと地域にある資源を結ぶ歩行者ネットワークを形成する「ひと」中心のウォークアブルな空間を形成するため「**方針1：歩行者空間づくり**」を設定します。
 - 方針1の歩行者空間の形成を実現するため、エリア内の通過交通を抑制する外郭道路ネットワークの構築や、公共交通、駐車場など、「ひと中心のまち」を支える基盤を整える方針として「**方針2：基盤づくり**」を設定します。
 - 新たな魅力と価値の創造の大前提となる、安全で安心、なおかつ持続可能な環境づくりの方針として「**方針3：安全安心環境づくり**」を設定します。
 - 安全安心でひと中心な都市空間において、当該エリアに新たな魅力と価値の創造をもたらすような挑戦を誘発し、支援する方針として「**方針4：魅力づくり**」を設定します。
 - 当該エリア内の多様な主体が情報共有や連携をしながら、さらにエリア外の動きとも調整を図りながらエリアの発信力を高めていく取組として「**方針5：仕組みづくり**」を設定します。
- 5つの方針は、本市が目指す「SDGs未来都市」とも整合を図り、SDGs（Sustainable Development Goals＝持続可能な開発目標）の達成に貢献するものとします。
- まちの発展・成熟や社会情勢の変化等に応じて常に更新していくものとします。

官民連携で
まちと人を育て、発信する

方針5
仕組みづくり

方針3
安全安心
環境づくり

安全安心で持続可能な
都市環境を形成する

新潟駅・万代地区周辺を
「新たな魅力・価値が創造される
人中心のまちへ」

つながる
『2核・水辺・
3モール』

方針4
魅力づくり

エリア固有の資源を
活かした魅力を
再発見し、磨く

ひと中心の
ウォークアブルな
空間を形成する

方針1
歩行者空間
づくり

方針2
基盤づくり

ひと中心の
まちづくりを
支えるための
基盤を整える

方針1 歩行者空間づくり



ひと中心のウォーカブルな空間を形成する

歩行
滞留

再開発等との連携により3つのモールを軸とした豊かな歩行空間を形成するとともに、道路・民地の双方で、都心のライフスタイルの質を高める豊かな滞留空間を創出

再開発等との連携により歩行空間や滞留空間を緑のネットワークとしてもつなぎ、潤いある空間を形成



歩行者優先のストリートとなった
弁天通のイメージ



通り全体を広場化した
旧新潟駅前通イメージ

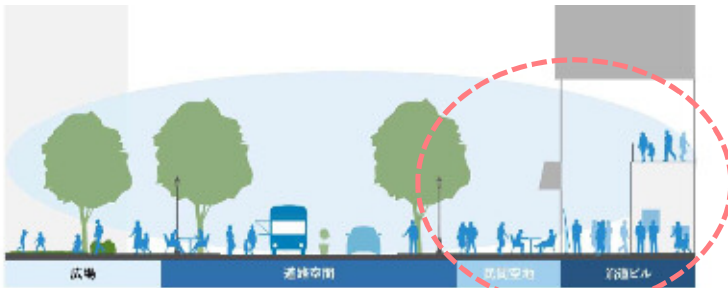


ガルベストーン通り

1階づくり
(グランドレベル)

再開発等との連携により主要な歩行者ルート沿いを中心に沿道民地の1階部分のオープン化による賑わいの滲みだしとともに、歩いているも“新潟らしさ”が感じられる空間を創出

再開発等と連携し、ストリートの性格や将来ビジョンと合わせた1階部分の土地利用を誘導



一体的なグランドレベルデザインのイメージ
(居心地が良く歩きたくなるグランドレベルデザイン
令和3年6月 国土交通省 都市局 まちづくり推進課)



沿道の商業施設と一体となった
万代シティ通り（万代シティ中心
エリアリニューアル企画書より）

移動
情報

エリア内はもとより、古町地区や万代島地区を含めた、新潟2kmや、市内の回遊性の向上を促すため、デジタル技術も活用した案内施設や情報提供により、案内機能を強化

移動情報の提供とともに、エリアの価値向上やマネジメントに資する屋外広告の柔軟な運用を検討



わかりやすい案内サインなど、
安心して歩ける空間づくりのイメージ



大阪市うめきた地区における景観自主ルールに
基づく屋外広告物の掲示事例

方針2 基盤づくり
ひと中心のまちづくりを支える基盤を整える

道路

当該エリアの外郭道路ネットワーク（万代島ルート線等）を形成し、東大通等への通過交通の抑制を図る

自動運転やまちづくりのDXなどデジタル技術の進展に対応して、道路や公共空間空間をフレキシブルに活用



マイカーによる通過交通を抑制した公共交通と歩行者優先の通りのイメージ

モビリティ（移動）

公共交通のターミナルの整備等を契機として、市内及び広域の交通ネットワークの再編を検討

自動運転やMaaS等を導入した新たな都市交通を実現するため、それらに対応したバス待ち空間や乗降スペースの確保など、公共交通サービスの質を高めるとともに、鉄道や水上交通等も含めた公共交通の連携を強化

自転車や新たなパーソナルモビリティなど環境にもやさしいモビリティの交通環境を充実



新潟駅周辺整備（交通ターミナル）事業計画



質の高い公共交通サービスイメージ（都市再生緊急整備地域パンフレットより）

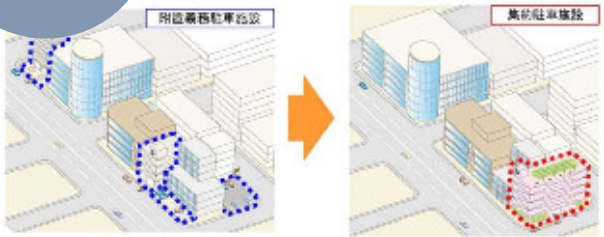


自転車やパーソナルモビリティの通行環境整備イメージ

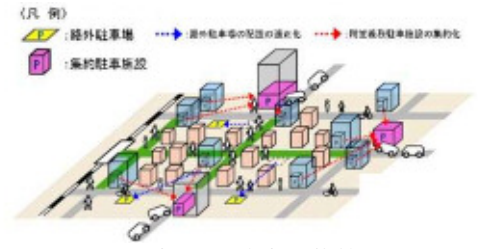
駐車場荷捌き

まちづくりと連携して駐車場の配置や出入口の位置等を誘導し、まちなかの駐車場の配置適正化を図る

事業活動に伴う荷捌き等については、実態の把握とともに必要に応じた対応策を検討



駐車場の集約化イメージ（国土交通省資料）



まちづくりと連携した駐車場施策ガイドライン（基本編）（国土交通省資料）

方針3 安心・安全な環境づくり

安全安心で持続可能な都市環境を形成する



グリーン
インフラ

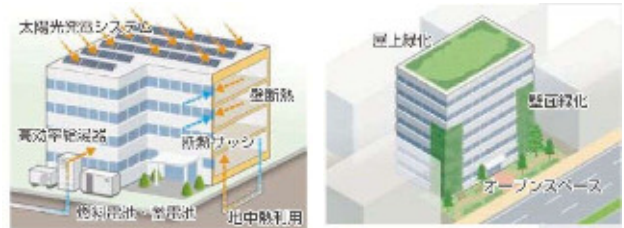
公共空間の整備改修や新潟都心地域開発ガイドラインに基づく民間開発などの機会を活かした積極的なグリーンインフラの活用・普及

様々なグリーンインフラの取組例
出典：グリーンインフラの事例（国土交通省）



省エネルギー
再生可能
エネルギー

省エネルギーに資する建物や移動手段への転換、再生可能エネルギーの活用などにより都市の環境負荷を軽減



再生可能エネルギーの活用や緑化等を取り入れた取組のイメージ（新潟都心地域開発ガイドラインより）

防災
減災

都市機能の継続性と市民の命を守る水災害への対応として、民間との連携による津波避難ビルや一次避難施設等の確保を促進

避難者の受け入れや災害備蓄など、エリアに応じた地域防災や事業継続に向けた対応を図る



災害備蓄のイメージ（新潟都心地域開発ガイドラインより）



津波到達時間と避難ビルの位置（中央区HP）

水辺・
水質

当該エリアの景観を印象づける水辺の環境を保全・活用するとともに、心地よい水辺であり続けるため水質の維持・改善につながる働きかけを行う



スノーピーク 水辺アウトドアラウンジ
やすらぎ堤ホームページより

方針4 魅力づくり



エリア固有の資源を活かした魅力を再発見し、磨く

柔軟な
土地利用

まちなか居住や混合的な土地利用、ストリートと一体となったオープンスペース、空き地空き店舗等の有効活用など、ストリートの特性と将来ビジョンに応じた土地利用を誘導

柔軟な土地利用の連鎖的な展開
(事例：富良野市 出典：市街地整備2.0 (国土交通省))



ビジネス・
イノベーション

柔軟な働き方や高機能オフィスに対応した多様な業種・業態の商業・業務機能を誘導

オープンイノベーションをきっかけに、ベンチャー企業等の誘致やスタートアップ拠点の形成などを通じて、イノベーションを促進する新たなビジネス拠点を形成

メタバース、ドローンなど先端技術の活用や、DXの推進等により、ビジネスチャンスが芽生える環境づくりを推進



コワーキングスペース (MOYORé) (新潟都心地域開発ガイドラインより)



NINNOと渋谷QWSに入居するベンチャーキャピタルや渋谷QWSと連携する大学機関とをデジタル技術を介してマッチング
出典：まちづくりDXの施策紹介 (国土交通省)

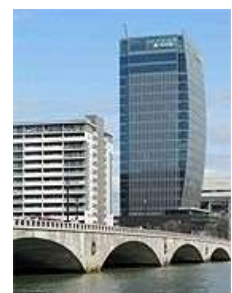


地域整備方針に合致した容積率等の緩和が適用される取組のイメージ (新潟都心地域開発ガイドラインより)

歴史
文化

信濃川、港、萬代橋、旧新潟駅などの歴史的な資源を活かした都市デザインを推進

アートやマンガ・アニメなど文化を発信



萬代橋とメディアシップ

景観
形成

ストリートごとの特性や成り立ちを活かした街並みや、都市緑化を推進し、みなとまちとしての活力と風格のある都市景観を形成

オープンスペースの設置による交流を促す景観づくり、建物のガラス面からの透過光、ライトアップ等の灯りによる上質な夜間景観づくり



夜間の景観イメージ (新潟都心地域開発ガイドラインより)

方針5 仕組みづくり

官民連携でまち・人を育て、発信する



エリア
プラットフォーム
(地区全体)

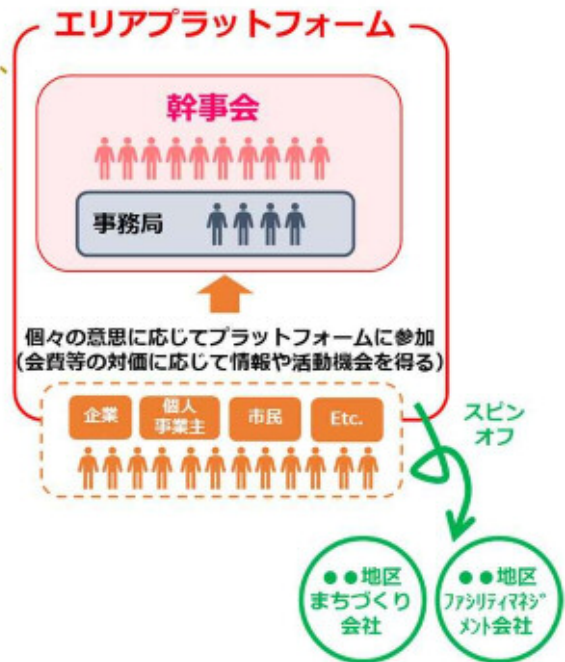
人材と情報の出会い、交流の受け皿となるエリアプラットフォームを構築・運営

エリア
マネジメント
(ゾーンごと)

エリアの魅力と価値を高めるため、各種事業を展開しながら、持続的な事業運営を可能とするエリアマネジメントを適材適所で推進。それに資する人材を育成

新潟駅・万代地区周辺におけるエリアプラットフォームとエリアマネジメントの違い

- ・エリアプラットフォームは情報や活動の受け皿（プラットフォーム）であり、それ自体が活動を行う主体ではありません。
- ・エリアマネジメント組織は、それ自体が収益活動を含む事業を営む組織です。
- ・例えばエリアプラットフォームの実行委員会として任意に組織を立ち上げ、それが将来的にエリアマネジメント組織（まちづくり会社など）に発展していくことなどは想定されます。



シティ
ブランディング

エリアごとのアイデンティティを活かし、その魅力の創出と情報発信を行いながら、古町地区、万代島地区を含む「にいがた2 km」としてシティブランディングの取り組みを推進



にいがた2 kmのまちづくり

情報
発信

ポータルサイトの構築やSNS、プロモーション手法を活用したイベント情報、まちづくりの進展などの情報発信



○全国的な潮流 ～クルマ優先の街路からウォークブルなストリートへ～

高度経済成長を経た現代において、ともすればクルマが優先する通行空間であった街路を、我が国の都市の形成史を踏まえつつ、今日的な我が国ならではのストリートに転換し、人々が行き交い、様々な出会いと交流が生み出されることにより、イノベーションの創出やまちの求心力の根源となるような、居心地が良く歩きたくなる「ウォークブルな」ストリートとすることが、都市に求められている。（国土交通省都市局・道路局「ストリートデザインガイドライン（令和3年5月）」より



○新潟駅・万代地区周辺における「人中心のウォークブルな空間づくり」の考え方

人中心のウォークブルな空間づくりに向けて、**自動車・公共交通等の交通環境を見直し、歩行者のための空間づくりを推進**していきます。

前提条件

- 新潟駅 駅直下交通広場や新・万代広場の整備完了
- 中・長距離バスターミナルの整備完了
- 万代島ルート線の概成、新潟駅西線などの都市計画道路の概成

自動車交通と公共交通を取り巻く環境が大きく変化します。

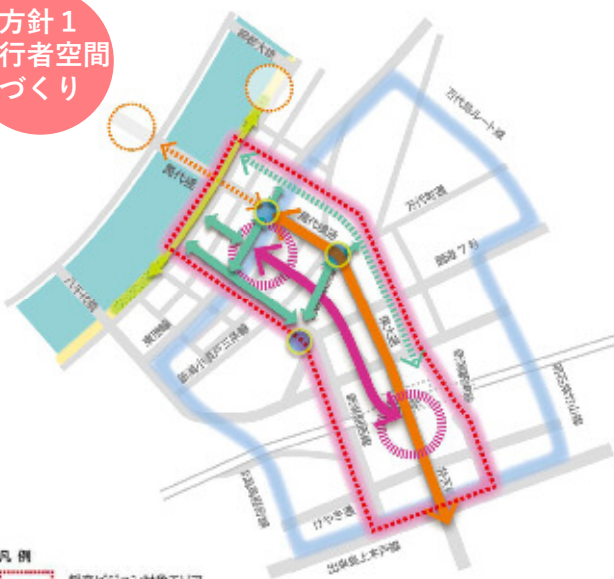
【歩行者のための空間への転換】

エリア内の回遊性向上と居心地のよい滞在空間創出に向け、10のストリートの特色を活かしたウォークブルな空間づくりを進めます。

【自動車・公共交通等の交通環境の見直し】

万代島ルート線の概成や新潟駅連続立体交差事業に伴う幹線道路整備により都心の外郭道路ネットワークが形成され、都心部への通過交通の抑制を図ります。

方針1
歩行者空間づくり



方針2
基盤づくり

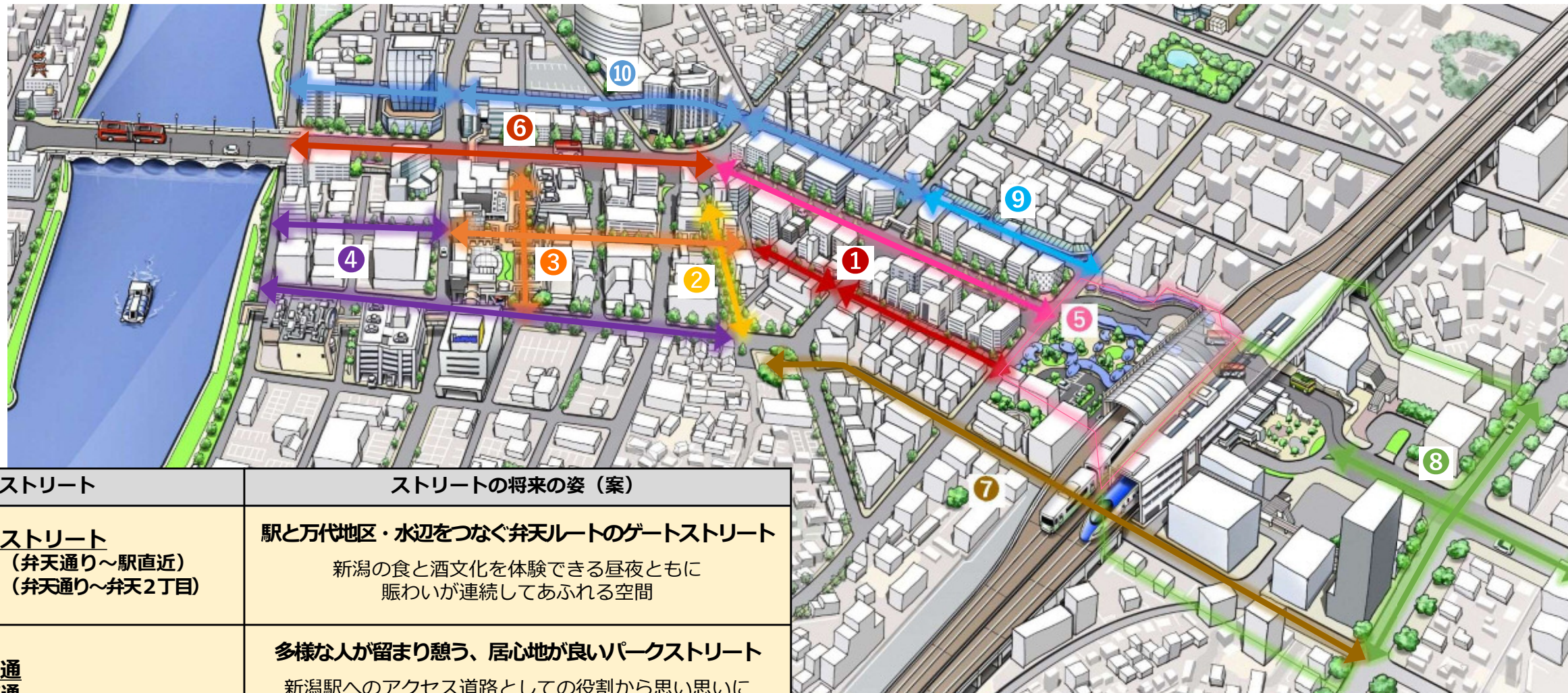


- 凡例
- 将来ビジョン対象エリア
 - 賑わいの核
 - 核の骨格となる都市軸 (プレイスレベルUPを求めるもの)
 - 核をつなぐモールドとしての軸
 - 重要な地域資源 (歴史的・自然的に貴重な資源)
 - 地域資源をつなぐ歩行者ネットワーク (プレイスレベルUPを求めるもの)
 - 面的な歩行者空間形成

- 凡例
- 将来ビジョン対象エリア
 - 都心軸
 - 副軸
 - バス交通の拠节点
 - 幹線道路
 - 主要区画道路
 - 鉄道
 - 外郭道路ネットワーク

IV ストリートごとのウォーカブルな将来の姿

○将来ビジョンを実現するための10のストリートのウォーカブルな将来の姿を設定します。



ストリート	ストリートの将来の姿 (案)
① 弁天ゲートストリート ・弁天ルート (弁天通り～駅直近) ・弁天ルート (弁天通り～弁天2丁目)	駅と万代地区・水辺をつなぐ弁天ルートのゲートストリート 新潟の食と酒文化を体験できる昼夜ともに賑わいが連続してあふれる空間
② 旧新潟駅前通 ・旧新潟駅前通	多様な人が留まり憩う、居心地が良いパークストリート 新潟駅へのアクセス道路としての役割から思い思いに多様な過ごし方を受け入れる豊かな滞在空間へ
③ 万代シテイストリート ・弁天ルート (万代ガルベトン通り) ・市道南2-2号線 (万代シテイ通り)	新たな万代シテイを象徴する歩行者中心のウォーカブルなストリート 多様な来訪者が居心地よく楽しく回遊できる体験型・時間消費型の空間
④ かわまちストリート ・弁天ルート (東港線～信濃川) ・市道八千代1号線 (ビルボードプレイス前の通り)	“まち”と“かわ”をつなぐ、やすらぎ堤への玄関口 商業施設や沿道開発との連携により、新たな回遊を生み出すストリート
⑤ 東大通ストリート ・東大通り (新潟駅～流作場五差路) ・新潟駅周辺 (新万代広場)	風格と機能を併せ持つ都心の象徴的なストリート 駅とまちをつなげ、沿道と一体となった緑豊かで居心地がよい人中心の空間へ
⑥ 萬代橋通 ・萬代橋通 (流作場五差路～萬代橋)	駅・万代地区と信濃川、古町地区をつなぐストリート 点在する公共空間の特性に合わせた使い方によりまちでの思い思いの過ごし方を可能とする空間

ストリート	ストリートの将来の姿 (案)
⑦ 新潟駅西ストリート ・(都)新潟駅西線	駅南北のアクセス機能を担うストリート
⑧ 駅南ストリート ・新潟駅周辺 (南口中央広場) ・けやき通り ・弁天線 (南口駅前通り)	交流の活発化によりイノベーションが生まれるストリート 周辺施設とつながり、イノベーションの促進につながる雰囲気づくり
⑨ 花園ゲートストリート ・花園ルート (駅直近)	駅と“みなと”をつなぐ花園ルートへのゲートストリート 都心軸の東西で対を成す、新潟の食と酒を楽しむおもてなしエリア
⑩ みなとまちストリート ・花園ルート (明石通り～万代町通り) ・花園ルート (万代町通り～東港線) ・花園ルート (東港線～信濃川)	まちと“みなと”をつなぐストリート 商業・事業・居住など多様性のある安全な混合土地利用エリア

① 弁天ゲートストリート

- ・弁天ルート（弁天通り～駅直近区間）
- ・弁天ルート（弁天通り～弁天2丁目区間）

【ストリートの将来の姿】

駅と万代地区・水辺をつなぐ弁天ルートのゲートストリート ～新潟の食と酒文化を体験できる昼夜ともに賑わいが連続してあふれる空間～

【参考イメージ】

駐車場を活用した広場でイベントが開催

周辺の店舗が定期的に出店

開放的な造りの1階



新栄テラス（福井県）
（出典：国土交通省資料）



お酒や食の文化を楽しむ沿道店舗

歩車共存の弁天通

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

1階(グランドレベル)づくり

- ・沿道のグランドレベルのファサードのオープン化

【方針2】基盤づくり

道路

- ・歩車共存道路化(歩車の境界の無い道路)

駐車場・荷捌き

- ・まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・和、食、酒等の新潟文化を楽しめる店舗の充実
- ・低未利用地の利活用（イベント活用など）

歴史資源・景観形成

- ・和・食・酒の雰囲気づくり（景観形成など公共空間・民地の統一した景観）

【周辺エリアとの「つながり」】

○駅と万代地区、水辺とのつながり

- ・駅から万代地区、水辺へと足を運んでみたいくなるような沿道空間の利活用を推進する

○花園ルートとのつながり

- ・花園ルート側を含めた一体的な空間形成、回遊を促す仕組みづくり

② 旧新潟駅前通

・旧新潟駅前通

【ストリートの将来の姿】

多様な人が留まり憩う、居心地が良いパークストリート

～新潟駅へのアクセス道路としての役割から
思い思いに多様な過ごし方を受け入れる豊かな滞在空間へ～

【参考イメージ】



【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・再整備後の歩行空間を滞留・賑わい空間などとして活用(ほこみち制度等)

1階(グランドレベル)づくり

- ・沿道のグランドレベルのファサードのオープン化

【方針2】基盤づくり

道路

- ・道路空間の再編(広場のようなストリートへ)

モビリティ(移動)

- ・旧新潟駅前通を通行する自転車・車への対応

駐車場・荷捌き

- ・まちづくりと連携した駐車場施策への見直し(駐車場出入口の誘導等)

【方針4】魅力づくり

景観形成

- ・良好な都市景観の誘導(景観ガイドライン)

【周辺エリアとの「つながり」】

○弁天公園とのつながり

- ・弁天公園と旧新潟駅前通が一体となって憩いの空間が形成されるよう、弁天公園と連続した空間づくりと空間活用を行う

○流作場五差路とのつながり

- ・自動車交通のあり方の見直しとともに、流作場五差路の変則的な交差点ととの連続性に考慮することで、立ち寄りたくなる魅力ある年空間に転換していく(流作場五差路の歩道と一体となったまちかど広場の創出など)

③ 万代シテイストリート

- ・ 弁天ルート（万代ガルベストーン通り区間）
- ・ 市道南2-2号線（万代シテイ通り）

【ストリートの将来の姿】

新たな万代シテイを象徴する、歩行者中心のウォークブルなストリート

～多様な来訪者が居心地よく楽しく回遊できる体験型・時間消費型の空間～

【参考イメージ】



【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・ 歩行者空間を滞留・賑わい空間などとして活用(ほこみち制度等)
- ・ 休日等は車道を含めて賑わい空間として活用

1階(グランドレベル)づくり

- ・ 沿道のグランドレベルのファサードのオープン化・ガラス張りなどによる歩道の一体化

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・ 体験型、時間消費型の都市機能を強化

【周辺エリアとの「つながり」】

○駅と万代地区、水辺とのつながり

- ・ 駅から万代地区、万代地区から水辺へと足を運びたくなるきっかけの場所として、滞留できる空間づくり行う

○沿道事業者による継続的なストリートマネジメント

- ・ ほこみちを指定した道路では沿道事業者がストリート空間を沿道と一体にマネジメントすることが求められる。道路空間を活用したエリア価値向上や収益事業に取り組み、沿道事業者による継続的なストリートマネジメントを行う

○万代クロッシングとの連携

- ・ 万代シテイ通りと萬代橋通が交わる万代クロッシングは万代シテイ通りとも連携した活用の可能性を検討等

④ かわまちストリート

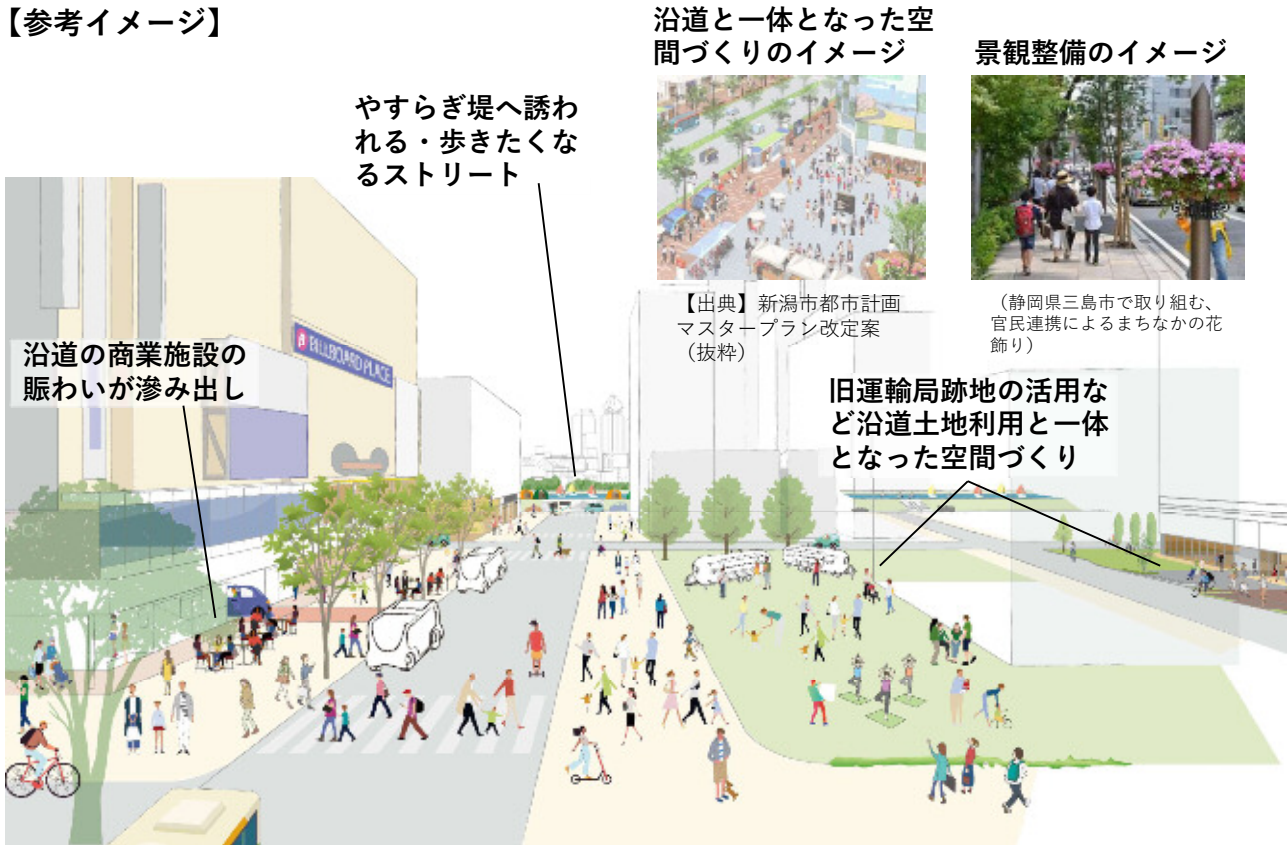
- ・ 弁天ルート（東港線～信濃川区間）
- ・ 市道八千代1号線（ビルボードプレイ前の通り）

【ストリートの将来の姿】

“まち”と“かわ”をつなぐ、やすらぎ堤への玄関口

～商業施設や沿道開発との連携により、新たな回遊を生む出すストリート～

【参考イメージ】



沿道と一体となった空間づくりのイメージ

景観整備のイメージ

【出典】新潟市都市計画
マスタープラン改定案
(抜粋)

(静岡県三島市で取り組む、
官民連携によるまちなかの花
飾り)

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・ 商業施設や旧運輸局跡地と一体となった歩行空間創出

1階(グランドレベル)づくり

- ・ 沿道のグランドレベルのファサードのオープン化・ガラス張りなどによる歩道の一体化

【方針2】基盤づくり

道路

- ・ 道路空間再配分(段階的な交通規制等)
- ・ フレキシブルな空間活用

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・ 水辺空間の魅力を活かしたまちなか居住
- ・ 体験型、時間消費型の都市機能を強化

景観形成

- ・ やすらぎ堤の視点場（大階段）へのアクセスルートとして、水辺を感じる空間づくり

【周辺エリアとの「つながり」】

○万代地区と水辺とのつながり

- ・ 万代地区から水辺へと足を運びたくなる歩行者ネットワークの形成や空間演出を行う

○やすらぎ堤とのつながり

- ・ やすらぎ堤につながるルートであることの認知を広げて利用者を増やすには、やすらぎ堤の取組も望まれる。例えば、市道八千代1号線から北を望んだときに信濃川ややすらぎ堤を認識できる空間づくりなど

⑤ 東大通ストリート

- ・東大通り（新潟駅～流作場五差路区間）
- ・新潟駅周辺（新万代広場）

【ストリートの将来の姿】

風格と機能を併せ持つ都心の象徴的なストリート

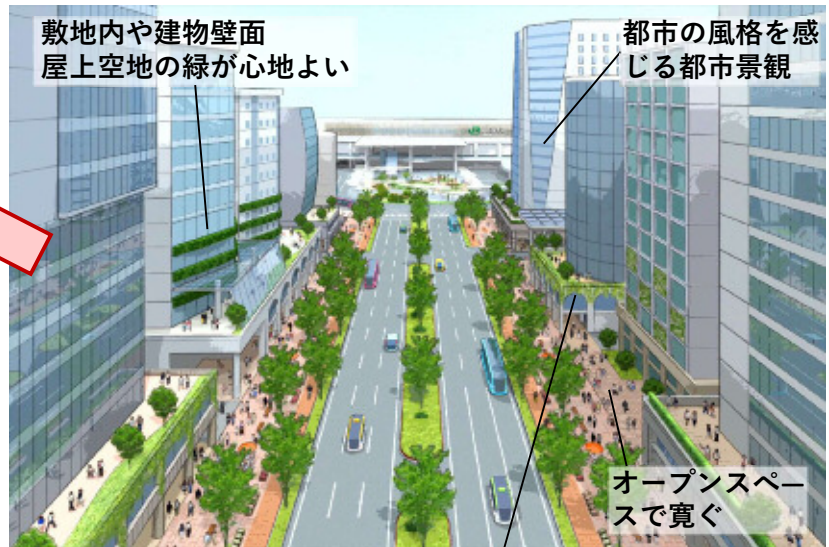
～駅とまちをつなげ、沿道と一体となった緑豊かで居心地がよい人中心の空間へ～

【参考イメージ】

「ひとと公共交通」が中心のストリートとして生まれ変わる



通過交通の転換による
段階的な空間再編



敷地内や建物壁面
屋上空地の緑が心地よい

都市の風格を感じ
る都市景観

オープンスペースで
寛ぐ

グランドレベルのファサードが
オープンで活気が滲み出している

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

1階(グランドレベル)づくり

- ・沿道のグランドレベルのファサードのオープン化・ガラス張りなどによる歩道の一体化

【方針2】基盤づくり

道路

- ・通過交通の転換（万代島ルート、公共交通の利用促進など）と道路空間の段階的な再編への取組（社会実験など）

モビリティ（移動）

- ・多様な交通手段を選択できる環境づくり（走行空間やポートの設置など）

駐車場・荷捌き

- ・まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）

【方針3】安心・安全な環境づくり

グリーンインフラ

- ・敷地内や建物、屋上空地の緑化の促進

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・高次業務、商業、宿泊など多様な都市機能の誘導

景観形成

- ・良好な都市景観の誘導

【周辺エリアとの「つながり」】

○新潟駅とまちのつながり

- ・新潟駅を降りた来街者がすぐにバスやタクシーに乗り込むことなく、まちなかへ歩き出したくなるような機能の確保と空間づくりを行う

○弁天ルートと花園ルートとのつながり

- ・現在は、弁天ルートと花園ルートは東大通りで分断され、2つのルートを回遊する行動はあまり見られない。2つの副軸間を行き来がしやすいようになるよう、東大通の段階的な再編などを検討する

⑥ 萬代橋通

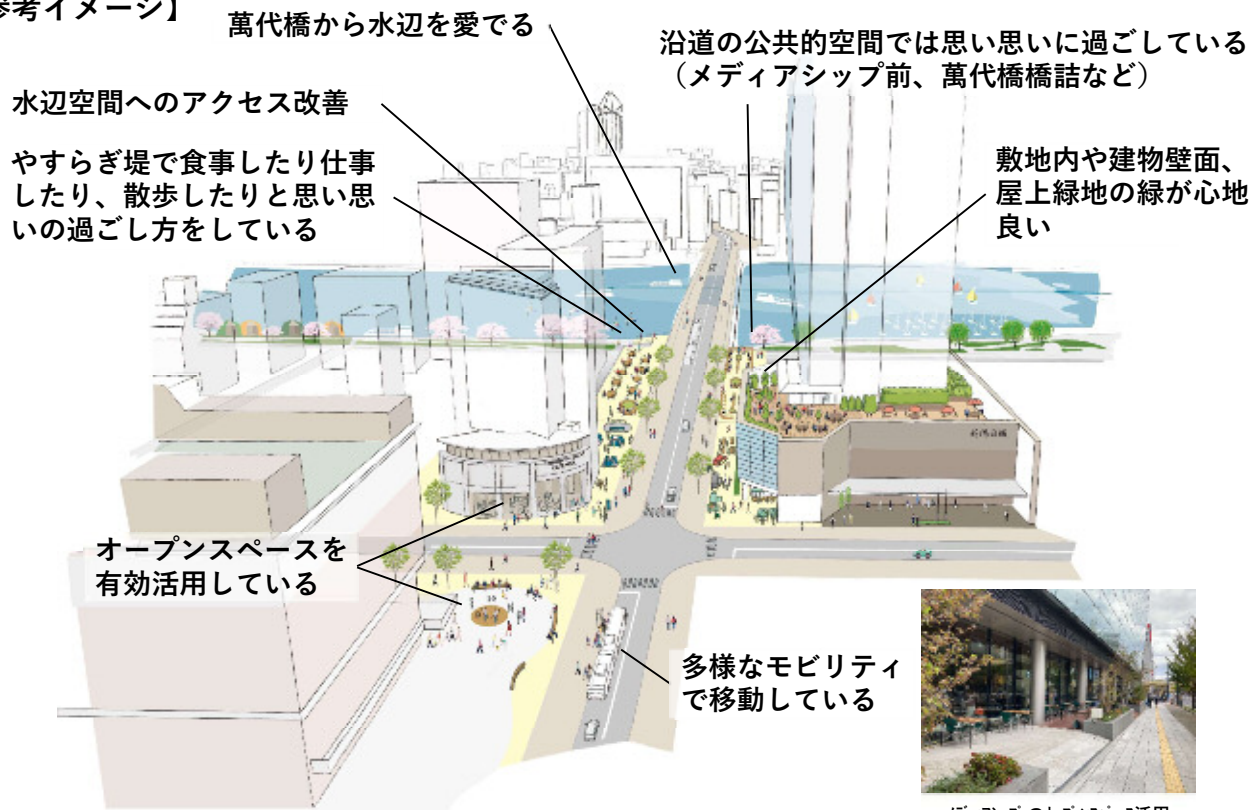
・ 萬代橋通（流作場五差路～萬代橋区間）

【ストリートの将来の姿】

駅・万代地区と信濃川、古町地区をつなぐストリート

～点在する公共的空間の特性に合わせた使い方によりまちでの思い思いの過ごし方を可能とする空間～

【参考イメージ】



メディアシップのオープンスペース活用

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・ 沿道に点在する公共的空間の特性に合わせた有効な活用と連携（社会実験等）
- ・ 水辺空間へのアクセス改善

1階(グランドレベル)づくり

- ・ 沿道のグランドレベルのファサードのオープン化

【方針2】基盤づくり

道路

- ・ 通過交通の転換（万代島ルート、公共交通の利用促進など）と、段階的な道路空間の再編への取組

モビリティ（移動）

- ・ 多様な交通手段を選択できる環境づくり（走行空間やポートの設置など）

駐車場・荷捌き

- ・ まちづくりと連携した駐車場施策への見直し（駐車場出入口の誘導等）

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・ 高次業務、商業、宿泊など多様な都市機能の誘導

景観形成

- ・ 良好な都市景観の誘導（景観ガイドライン）

【周辺エリアとの「つながり」】

○駅・万代地区と信濃川、その先の古町とのつながり

- ・ 駅・万代地区から信濃川やその先の古町地区まで足を運んでみたくなるような空間づくりや、多様な移動手段を選択できる環境づくりを図る

○万代シティエリアと万代東エリア、万代島をつなぐ

- ・ 萬代橋通で沿道の地域が分断されており、沿道のエリアの回遊を促すような沿道の空間を活用したにぎわいの創出を図る

○水辺空間とのつながり

- ・ 萬代橋通からやすらぎ堤や万代テラスへのアクセスを改善し、水辺空間へのつながりの強化を図る

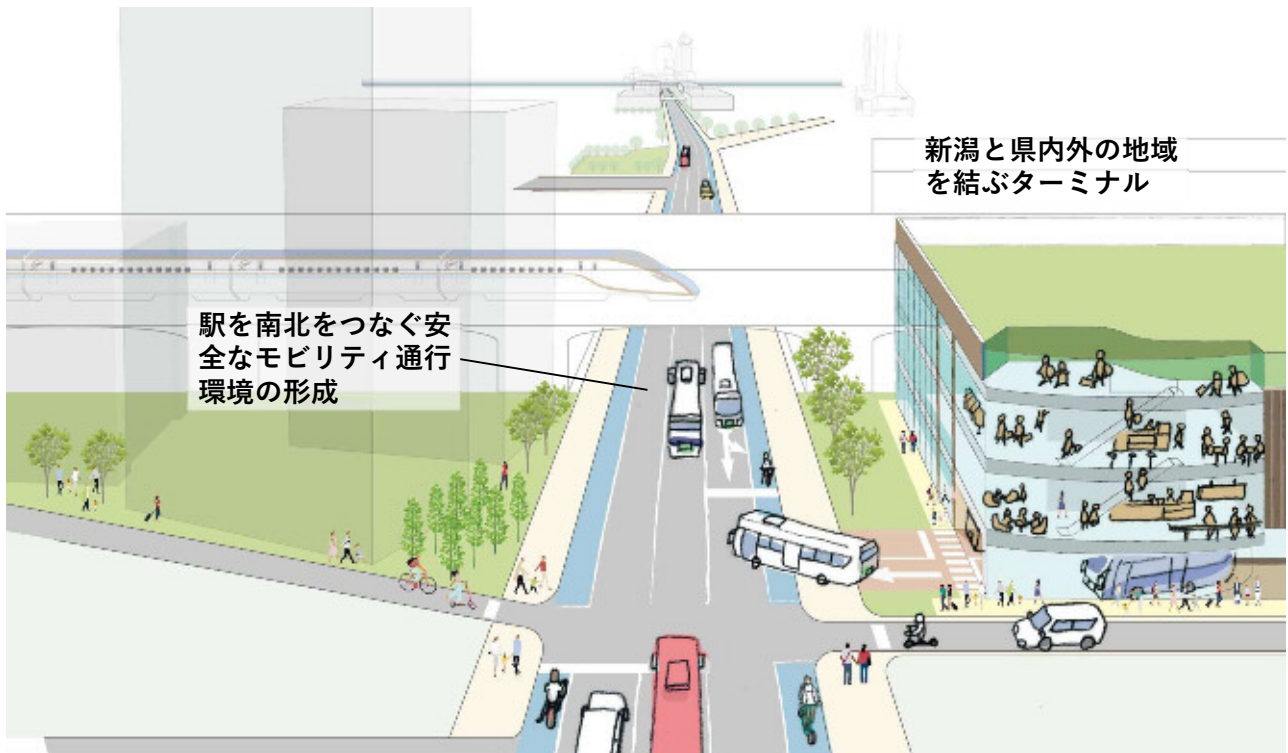
⑦ 新潟駅西ストリート

・ (都) 新潟駅西線

【ストリートの将来の姿】

駅南北のアクセス機能を担うストリート

【参考イメージ】



【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針2】 基盤づくり

道路

- ・ 新潟駅西線の整備（無電柱化の実施／バリアフリーに配慮した歩道や自転車道の整備）

モビリティ（移動）

- ・ 中・長距離バスターミナル等の整備
- ・ 駅の南北をつなぐモビリティ環境づくり（バス、自転車など）

【方針4】 魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・ 南北市街地の一体化による沿道土地利用の活性化

【周辺エリアとの「つながり」】

○南北市街地をつなぐ

- ・ 鉄道高架下を横断する補助幹線道路を整備することで、南北市街地の連続性の向上、駅へのアクセス機能向上、駅周辺地区の渋滞解消を図る

○駅と郊外地域、他都市をつなぐ

- ・ 中・長距離バスターミナルのアクセス道路として、駅と郊外地域や他都市をつなぐ役割を担う

⑧ 駅南ストリート

- ・新潟駅周辺（南口中央広場）
- ・けやき通り
- ・弁天線（南口駅前通り区間）

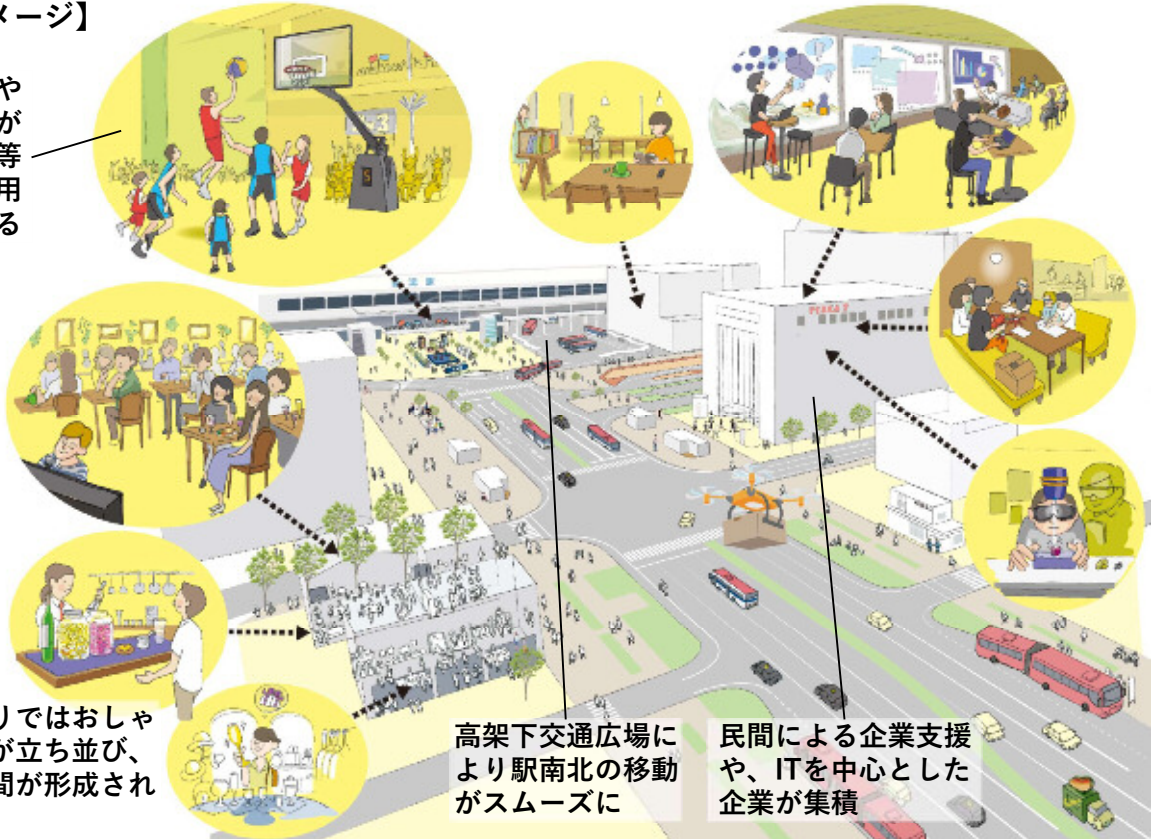
【ストリートの将来の姿】

交流の活発化によりイノベーションが生まれるストリート

～周辺施設とつながり、イノベーションの促進につながる雰囲気づくり～

【参考イメージ】

駅前広場や歩道空間がイベント等に有効活用されている



けやき通りではおしゃれな個店が立ち並び、楽しい空間が形成されている

高架下交通広場により駅南北の移動がスムーズに

民間による企業支援や、ITを中心とした企業が集積

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・駅南口中央広場や歩行空間を滞留空間として活用

移動情報

- ・駅前における案内サイン、デジタルサイネージの充実

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・イノベーションの創出、スタートアップ拠点形成

【周辺エリアとの「つながり」】

○駅北側とのつながり

- ・駅南北の回遊性の向上につながる取り組みを推進

○駅南側のスタジアム等の資源とのつながり

- ・スポーツ観戦等による熱気が駅でも味わえるような、来街者を出迎える場所としての空間づくりを図る

○駅・広場。まちの一体的な運営（広場を使ったエリアマネジメント）

- ・広場の整備計画に掲げた方向性「まちと駅のつながり・広がり・一体感」ある駅前広場としていくため、整備後の広場を活用したエリアマネジメント

⑨ 花園ゲートストリート

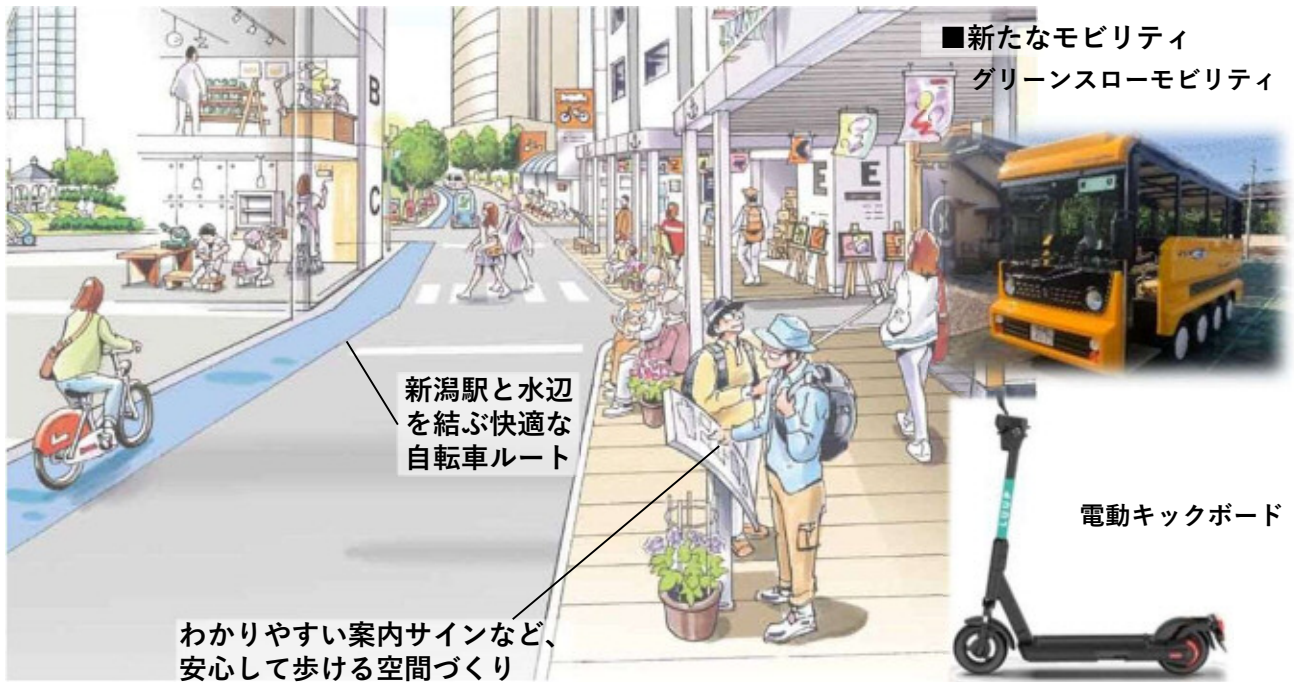
・花園ルート（駅直近区間）

【ストリートの将来の姿】

駅と“みなと”をつなぐ花園ルートへのゲートストリート

～都心軸の東西で体を成す、新潟の食と酒を楽しむおもてなしエリア～

【参考イメージ】



【出典】新潟市資料

【出典】国土交通省

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

移動情報

- ・みなとへの案内サインの充実

【方針2】基盤づくり

モビリティ（移動）

- ・自転車、新たなモビリティ通行環境整備

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・安心して、新潟の食と酒を楽しめる繁華街としての環境づくり

【周辺エリアとの「つながり」】

○水辺とのつながり

- ・連続した自転車走行環境の確保や案内サインなどにより、意識的に駅から水辺へと誘導する

○弁天通とのつながり

- ・東大通を挟んで対となった副軸を形成する弁天通との連携を図る

⑩ みなとまちストリート

- ・花園ルート（明石通り～万代町通り区間）
- ・花園ルート（万代町通り～東湾線区間）
- ・花園ルート（東港線～信濃川区間）

【ストリートの将来の姿】

まちと“みなと”をつなぐストリート

～商業・業務・居住などの多様性のある安全な混在土地利用エリア～

【参考イメージ】

ものづくりの工場
が入居している



立体駐車場の1Fは
店舗利用されている

公開空地を活用した
オープンカフェやマル
シェが行われている

新たなモビリティが
安全に通行できる環
境が整っている

【将来ビジョンの実現に向けた取組】

【方針1】歩行者空間づくり

歩行・滞留

- ・沿道の公開空地などオープンスペースの活用による居心地よい空間づくり

移動情報

- ・みなとへの案内サインの充実

【方針2】基盤づくり

モビリティ（移動）

- ・自転車や新たなモビリティの通行環境づくり

【方針4】魅力づくり

土地利用・都市機能

- ・商業・業務と住居の機能が適度に混在
- ・沿道の低未利用地など、緩やかな土地利用の更新

【周辺エリアとの「つながり」】

○住宅の安全性向上や土地活用によるまちなか居住促進

- ・商業と住居が混在する多様性をアイデンティティとして、エリア全体の魅力を向上する取組により、まちなか居住を促進

○宿泊施設等事業者との将来像の共有と連携

- ・ストリート空間そのものだけでなく沿道やその背後に立地する宿泊施設事業者や駐車場を所有する事業者等との連携が重要

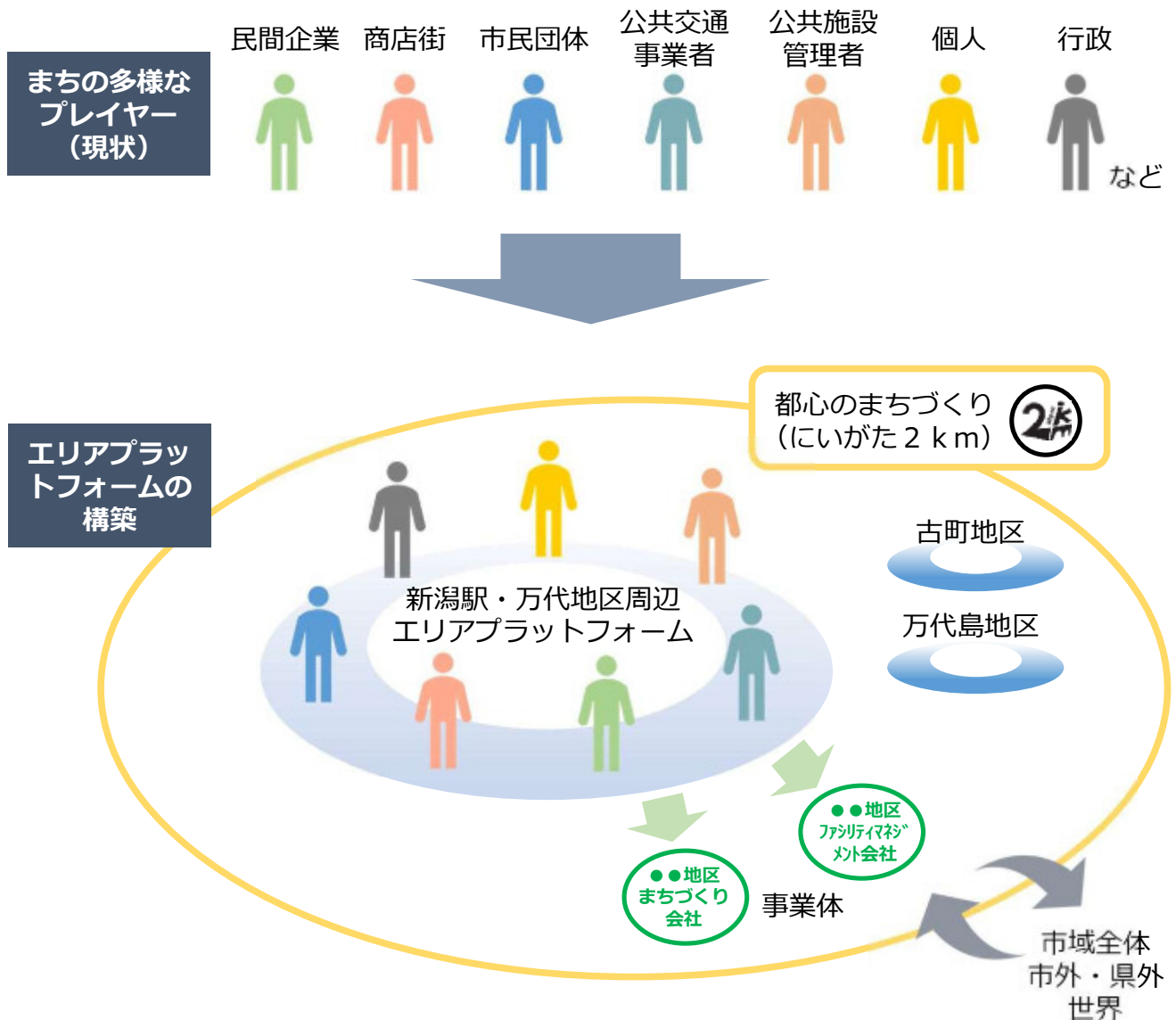
○万代地区と水辺とのつながり

- ・万代地区から万代島へと足を運びたくなる雰囲気づくりや、楽しく快適にアクセスできる環境を創出する

V ビジョンの実現に向けて

1 ビジョンの実現に向けた体制

- 当該エリアには、民間企業、商店街振興組合、公共交通事業者、市民団体など、多様な主体が存在し、精力的に活動しています。しかし、これまでは個々の主体同士が連携するための場や機会が少なかったため、エリア全体で情報共有や連携した取組を行うには限界がありました。
- 今後は、将来ビジョンを共通の目標として、その実現のため多様な主体同士が連携することを目的に「**エリアプラットフォーム**」を構築します。
- エリアプラットフォームは、設立後当面の間、当該エリアのなかでも主要な事業者等が参加し、当該エリアに関連する情報の共有、ビジョンに基づく施策や取組の進捗確認、今後の取組予定の共有等を行います。
- ゆくゆくは当該エリアに関わる幅広い事業者や団体、個人等が参加するプラットフォームに移行し、プラットフォーム内での多様な連携を促進するとともに、必要に応じてエリアマネジメントを行うような組織の設立も検討していきます。さらに当該エリア内外（古町、万代島、市域全体、市外・県外・世界）の連携を強化させ、**さまざまな「つながる」を生み出していきます。**



- 将来ビジョンの実現に向けた取組の実施や推進体制の構築に向けた推進プロセスを以下のとおり整理します。
 - 将来ビジョンに位置づけた10のストリーートのうち、既に新潟市で取組を推進しているものや短期的に効果発現が期待されるもの、周辺の取組と一体的に実施することが効率的・効果的なものについて「リーディングプロジェクト」として位置付け、優先的に取り組みを推進していきます。
 - リーディングプロジェクトで得られた成果や課題等を踏まえ、他のストリートへの展開を図るとともに、道路空間の再構築などハード事業の実施や、民間開発への支援、景観ガイドラインに基づく景観誘導などの各種ソフト施策の本格的な運用を順次進めていきます。
- ※「リーディングプロジェクト」は、ストリーートの関係者との調整状況や社会動向等により変化することが想定されることから、本ビジョンとは別冊として整理し、柔軟に見直しをしながら進捗管理を行っていきます。

		短期	中期	長期
新潟駅・万代地区周辺 将来ビジョン		ビジョン 策定	取組状況等を加味し、適宜更新	
実現に向けた取組	公共空間の再編 (東大通、旧新潟駅前通等)	社会実験の実施 順次、計画・設計	整備	
	交通環境の充実 (中・長距離バスターミナル、駅直下バスターミナルの整備等)	調査・設計・整備	順次運用開始	
	まちづくりと連携した 駐車場施策への見直し	調査・設計・策定	運用	
	良好な都市景観の誘導 (景観ガイドライン)	調査・設計・策定	順次運用	
	公共空間利活用の推進 (万代シテイ等)	社会実験	制度活用による運用 (ほこみち制度等)	
	エリアマネジメントの推進 (駅前広場)	整備	順次運用	
推進体制の運営		エリアプラットフォームの運営	エリアの成熟化 エリアマネ事業の展開	
		連携	連携	連携
		個々の官民連携事業の展開	個々の事業の継続化	個々の事業の継続化